

中学受験

(演習用)

実戦的解法による

分野別算数 1000

ファイル No. 622

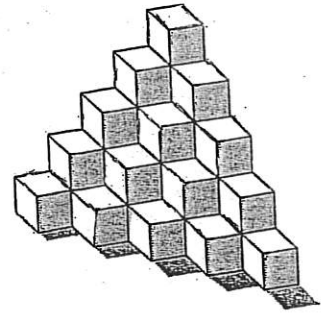
44-G 表面積と展開図

中受ゼミ G

1

図の立体は、一辺が1cmの立方体が上から順に1個、3個、6個、…と5段まで重なったものである。

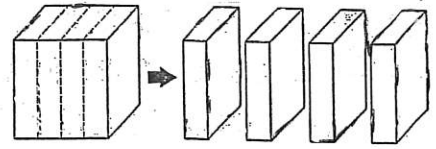
(1) この立体の体積と表面積を求めなさい。



(2) この立体の中で、2個の立方体の面が重なり合っている部分は全部で何か所あるか。ただし、重なり合っている2つの面は1か所と数える。

2

(1) 図のように、立方体を点線部分で分けて、同じ形の直方体を4つ作ります。4つの直方体の表面積の合計は、もとの立方体の表面積の□倍です。



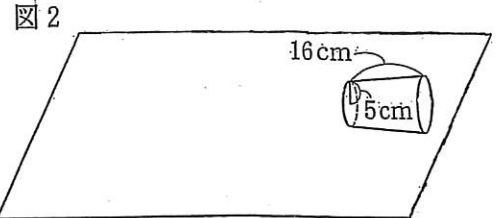
(2) 1辺が1cmの立方体が48個あります。この立方体をすき間なくくっつけて、表面積が1番大きくなる直方体を作ります。このときの表面積を求めなさい。

3

図2のようにコップをテーブルの上に横に置き、すべることなく転がすとちょうど8回転して元の位置に戻りました。底の円の半径は5cmです。

① このコップの底が転がってできた円の半径は  cm です。

円周率は3.14とします。



② このコップの飲み口部分の円の半径は  cm です。